

第3回大垣市教育振興基本方針推進委員会 会議録

日 時：平成23年2月23日（水）9時～10時30分

場 所：大垣市市役所北庁舎分館1階 教育委員会室

出席者

[委員]

役 職 名	氏 名	備 考
社会教育委員の会議長	平 野 順 一	委員長
岐阜大学教職大学院特任教授	松 岡 博	副委員長
大垣市小中学校長会会長	白 鳥 正 忠	
大垣市青少年育成推進会会長	吉 村 正 弘	
大垣市体育連盟生涯スポーツ振興委員会委員長	高 橋 美和子	
前大垣市文化連盟会長	田 中 良 幸	
大垣市読書サークル協議会会長	矢 橋 和 江	
市民公募	長 瀬 ちえ子	

[事務局]

役 職 名	氏 名
大垣市教育長	内 田 一 之
大垣市教育委員会事務局長	北 村 武 久
大垣市教育委員会庶務課長	坂 喜美和
大垣市教育委員会学校教育課長	清 水 俊 光
大垣市教育委員会社会教育スポーツ課長	大 山 正 行
大垣市教育委員会文化振興課長	三 輪 寛
大垣市教育委員会図書館長	水 上 春 雄
大垣市教育委員会教育総合研究所長	奥 田 修 二
大垣市教育委員会南部・北部学校給食センター所長	高 田 善 基
大垣市教育委員会庶務課長補佐兼庶務係長	守 屋 明 彦
大垣市教育委員会庶務課主査	近 藤 哲 也

議 事 録

坂 課長	皆さん、おはようございます。 大変お忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。 定刻となりましたので、只今から大垣市教育振興基本方針推進委員会を始めさせていただきます。 進行を務めさせていただきます、庶務課長の坂でございます。よろしくお願いいたします。 それでは、初めに内田一之教育長がご挨拶申し上げます。
------	--

内田教育長	皆様、本日は大変お忙しい中、「第3回大垣市教育振興基本方針推進委員会」にご出席いただき、誠にありがとうございます。 本年度は、「大垣市教育振興基本方針」に基づきまして、学校教育、青少年、図書館、スポーツ、文化の5分野について振興計画の策定を進めてまいりました。各計画の策定委員会では、委員のみなさまの活発なご意見をいただき、また、パブリックコメントを実施し、市民のみなさまの意見を取り入れ、計画案を、とりまとめたところでございます。 今後は、これらの計画に基づき、大垣市の教育を進めていくことに、全力を挙げて取り組んでまいりますので、委員の皆様には、よろしくご協力をお願いし、簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。
坂 課長	ありがとうございました。 それでは、平野委員長様、会議の進行をお願いいたします。
平野委員長	議事に入ります前に、本日の会議につきましては、個人情報など非公開とする案件に該当するような事案がないことから、会議は公開とさせていただきます。それでは、これより、議事に入ります。 初めに、お手元にお配りをいたしております、資料について、事務局からご説明願います。
事務局	まず、資料ナンバー1について説明いたします。 資料1ページ、「分野別振興計画の策定について」をご覧ください。 教育振興基本方針の重点6分野に対応する計画の策定を進めてまいりました。6分野のうち、社会教育（生涯学習）の振興の分野については、かがやきライフタウン構想推進に係る年次計画の、生涯学習分野を位置づけ、ほかの5分野については、各振興計画策定委員会で計画案を取りまとめたところでございます。各計画の期間は、平成22年度から平成26年度の5年間とするものでございます。 資料2ページをご覧ください。各分野別振興計画は、基本理念、基本目標、基本施策、施策、事業という階層で構成されています。各計画の基本施策は、教育振興基本方針の主要項目に対応し、分野別振興計画と教育振興基本方針の関係を明確にするものでございます。 6分野6計画の、基本施策は、合計で29施策、事業としては428の事業を実施してまいります。 続きまして、3ページ、資料ナンバー2「分野別振興計画の概要について」をご覧ください。各計画の基本理念、基本目標、基本施策、施策、事業をまとめたものでございます。また、各計画に関して、平成22年12月15日から平成23年1月14日の期間で、パブリックコメントを実施しました。その結果とあわせて、学校教育振興計画より、概要について所管課から説明させていただきます。

事務局	＜学校教育振興計画、青少年健全育成計画、読書活動推進計画、スポーツ振興計画、文化振興計画の概要について説明＞ 続きまして、８ページ、資料ナンバー３「大垣市の教育に関する市民アンケート調査結果について」をご覧ください。この調査は、計画の進捗状況を把握し、評価を行うための指標を設定するために行ったものでございます。 対象者は、無作為抽出による１８歳以上の市民５００人、調査方法は郵送配布、郵送返送によるものでございます。調査期間は平成２２年１２月１日から１２月２８日、回収率は５０．２％でございました。 対象者の属性として年齢区分、性別、住所地、１８歳までの子どもがいるかどうかを調査いたしました。アンケートの質問項目としては３０項目、結果については、９ページから１２ページにまとめております。指標としましては、質問に対して、５段階の満足度で回答する場合、「満足している」及び「やや満足している」と回答した人の割合を満足度としています。また、知っているか、知らないかを回答する場合、「知っている」と回答した人の割合を認知度としています。 １３ページから１８ページまでが、アンケート調査の自由意見欄の記載を年代別にまとめたものでございます。 続きまして、１９ページ、資料ナンバー４「教育振興基本方針の評価方法(案)」について」をごらんください。 平成２２年度より、基本方針及び分野別の振興計画に基づいた評価を実施してまいります。評価対象は分野別振興計画の基本施策、全２９施策といたします。評価は、自己評価及び外部評価を実施します。 自己評価といたしましては、基本施策ごとに指標を複数設定し、原則平成２１年度の実績を基準に、平成２２年度から平成２６年度までの目標値を設定します。目標値に対する達成度で自己評価を実施し、同時に施策に対する具体的な取り組みを、後ほど説明いたします、評価シートに記入します。また、現状の課題に対する改善策も同時に記入いたします。 外部評価といたしましては、(仮称)大垣市教育振興基本方針評価委員会を設置し、自己評価結果に基づき、点検・評価を行うものでございます。これにより、客観性を確保し、今後の取り組みの指針としても活用してまいりたいと存じます。また、この評価委員会は、教育委員会委員の活動を含めた教育行政全般の活動の報告を受け、意見を述べるものでございます。 別紙資料１０ページ、「大垣市教育振興基本方針評価委員会設置要綱(案)」をご覧ください。平成２３年度より、基本方針評価委員会を設置し、基本方針の６分野について点検及び評価を行っていくものでございます。評価委員会委員としては、現在推進委員会委員のみなさまになっていただき、策定、推進から評価まで携わっていただきたいと存じます。
-----	--

	続きまして、２０ページをご覧ください。分野別振興計画の指標一覧でございます。基本施策ごとに複数設定し、客観的な指標と意識面の指標を組み合わせております。それぞれ、基準値と、平成２６年度の目標値を設定いたしました。 続きまして、２６ページが評価シートの案でございます。この評価シートに基づき、評価委員会で外部評価を行うものでございます。 「分野」は、教育振興基本方針の重点分野、「主要項目」は、基本方針の主要項目でございます。「基本施策」は、分野別振興計画の基本施策、「主要施策」として、基本施策に対する具体的な施策を記入し、「施策の取組」で具体的な取組内容について記入をします。指標欄は、指標名、目標、実績を記入し、目標に対する実績の達成度で自己評価を行います。評価委員会では、施策の取組、指標に対する自己評価を基に総合評価を行います。 別紙資料１２ページ以降をご覧ください。各計画で一つの基本施策について、評価シートを平成２２年度が終了したものとして記入したものでございます。評価委員会では、この基本施策ごとに作成した２９の評価シートを基に説明させていただき、施策の点検、評価をしていただき、ご意見を賜りたいと存じます。 以上分野別振興計画の策定から評価方法（案）についてご説明申し上げました。委員の皆様には、ご協力賜りますよう、お願い申し上げます。
議 長	以上の説明について、質問がありましたら、お願いします。
委 員	評価委員会が設置されると、目標値が基準に評価を行うことになります。目標値の設定の基準はあるのでしょうか。低い目標値であれば容易に達成でき、高い目標値であれば達成は困難です。目標は高く持つべきとは思いますが、そうすることで評価が低くなることが考えられます。そのあたりの考え方をお聞かせください。
事務局	各計画の目標値は、高く設定いたしました。高い評価を得るための目標値ではなく、たとえ達成できなくとも、目指したいという思いで設定をいたしました。
委 員	目標値は、年度ごとに設定するのですか。
事務局	そうです。計画の中では、平成２６年度の目標値を記載しましたが、各年度で目標値を設定します。
委 員	計画の推進をするために、財政面の裏づけが必要な場合がありますが、財政面の確保はあるのですか

事務局	市の財政は、非常に厳しい状況ですが、計画を策定したことを裏づけとして、予算要求していきたいと考えています。
委員	計画をどう実現していくかが大事になってきます。学校教育の分野でも、スポーツの分野でも、指導者が高齢化しています。若い指導者がでてこない、競技力向上につながりません。
委員	いままで活躍している、資格のある指導者以外にも、地域の中や、企業の中に、指導はできるが、きっかけのない人がいると思います。また、人材発掘をしても、その人がずっと指導できる状態とは限らないため、随時見直しが必要なことが課題としてあると思います。
委員	学校教育の分野で、教員の資質の向上は永遠の課題です。大垣市は教育委員会が充実していて、大垣市教育総合研究所で研修を実施しています。いままでの研修の機会を少なくして新たな研修をするのではなく、いままでの研修も大事にしながら、充実を図っていく必要があります。
委員	青少年を対象にパトロールするときに、パトロール用のベストなどを着用せず、パトロールしている姿を見せないと、子どもの本当の姿が見えてきます。そうして、話してみると、そんなに悪い子はいません。上から注意するだけではなく、やわらかさも大事だと思います。
委員	学校の部活動は、子どもが少なくなって、維持するのが難しい状況です。スポーツ少年団に入っている、中学校に進学して部活動がないと、やめてしまうケースがあります。自分が進学する中学校に部活動が無い場合、部活動がある近隣の中学校に進学できるようになったので、それはいいことだと思います。
委員	部活動は規模が小さくなると試合でなかなか勝てない。先生の負担も大きい。指導者に関して、教職員は現在ベテランが多く若手が少ない状況です。あと10年すると、ベテランと若手が多く、中堅職員が少ない時代がきます。学校の中心となる中堅層が手薄になる時代を想定して、学校のリーダーになれるような研修を考えていく必要があるのではないかと思います。
事務局	小子化、少人数となっていく教育をどう考えていくか。社会全体の中で教育を考えていく必要があります。
委員	いじめの問題は現在どうなっていますか。
事務局	いじめは、されたほうがいじめと感じたらいじめになります。学校の中

委員 議長	でほとんど解決できています。 学校は集団生活をする場なので、集団生活をする以上、人間関係のトラブルは必ずおこります。トラブルが深刻になるといじめになりますが、Q U調査を実施するなど、学級づくりに力を入れているのでいじめにまで発展するケースは少ないです。 各計画では、今日の意見を踏まえて事業を実施していただきたいと思います。また、評価に際しては、数値などとして表に出ない部分も含めて判断をしていきたいと思います。時間も迫ってまいりましたので、本日はこれにて終了とさせていただきます。 これをもちまして、「第3回大垣市教育振興基本方針推進委員会」を終了いたします。
---------------------	--